

Unity Voice Mail を使用した CallManager 4.x ボイスメール ポートの作成 (NON-FAILOVER)

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ボイスメール ポートを作成します](#)

[ステップ 1: ボイスメール ポートを追加します](#)

[ステップ 2: 回線グループの作成](#)

[ステップ 3: ハント リストに回線グループを追加する](#)

[ボイスメール ポート ウィザードでボイスメール ポートを作成します](#)

[ステップ 1: ボイスメール ポート ウィザードを開始します](#)

[ステップ 2: ボイスメール ポートの設定](#)

[ステップ 3: ルート/ハント リストとルート パターン/ハント パイロット DNを追加します](#)

[ステップ 4: メッセージ待機インジケータの電話番号を設定します](#)

[ステップ 5: ボイスメール パイロットの電話番号を設定します](#)

[ステップ 6: 加入者のボイスメール プロファイルを設定します](#)

[ステップ 7: ルート パターンの追加](#)

[Cisco CallManager 4.1: ハント パイロット設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco CallManager バージョン 4.0(x) でボイスメール ポートを作成する方法について説明します。Cisco CallManager 4.0(x) では、ボイスメール ポートは以前のバージョンの Cisco CallManager とは異なる方法で設定されます。Cisco CallManager 4.0(x) では、ボイスメールのパイロット番号とプロファイルの作成により、システム管理者は Cisco CallManager 内で複数の音声メール サーバを設定できます。

Cisco CallManagerのボイスメール ポートは手動またはボイスメール ポート設定ウィザードを使用して設定できます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco CallManager 4.0(x) に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ボイスメール ポートを作成します

手動でCisco CallManager 4.0でボイスメール ポートを作成するには、次のセクションの手順を使用します (x) Cisco Unityボイスメールと。

ステップ 1: ボイスメール ポートを追加します

次の手順を実行します。

1. 機能>ボイスメール> Ciscoボイスメール ポートを選択し、Addをクリックします。新しいボイスメール ポート
2. ユーザがボイスメール ポート用に使用させたい命名規則を入力します。(シスコドキュメントの例では、Cisco CiscoUM1-V1#を使用します)。それぞれの実行されているポートはVI1、VI2などです。Cisco Unity の場合、この名前は Unity テレフォニー統合マネージャ (UTIM) のコンフィギュレーション ファイルで使用されている名前と一致する必要があります (Cisco UM-VI1、Cisco UM-VI2 など)。Ciscoボイスメール ポートの[追加情報](#)については、を参照してください。
3. 情報を追加したら、Insertをクリックします。注: 手動で購入したポートのライセンス番号の各CiscoUM1-VIポートを設定します。

ステップ 2: 回線グループの作成

回線グループをボイスメール ポートを関連付けるために作成するには、次の手順を実行します。

1. Cisco CallManager Administrationページの[Route Plan >ルート/ハント>回線グループ]から。
2. [Add a New Line Group] をクリックします。
3. 回線グループ名を追加し、他のオプションを設定して、最初の電話番号をクリックして強調します。
4. [Add to Line Group] をクリックします。すべてのボイスメール ポート ディレクトリ番号に繰り返す必要があります。
5. ボイスメール ポート ディレクトリ番号が追加されたら、DNを選択し、次に示す順序で上下移動します。
6. [Insert] をクリックして、回線グループを追加します。これは回線グループに追加する電話番号を示します。

ステップ 3: ハント リストに回線グループを追加する

ハント リストに新しく作成した回線グループを追加するには、次の手順を実行します。

1. Cisco CallManager Administration ページの [Route Plan > ルート パターン/Hunt Pilot > はからルート/ハント リストを開拓。
2. [Add a New Route/Hunt List] をクリックします。
3. デバイスに登録するルート/ハント リストの名前を追加して、Cisco CallManager グループを選択します。
4. ハント リストに回線グループを追加するように求められたら、[OK] をクリックします。
5. [すべての回線グループのリストとドロップを開始するには、回線グループ ボックスを追加します。
6. 作成した選択し、[Insert] をクリックします。回線グループを。
7. メッセージが表示されたら [回線グループは、ハント リストに挿入されたことを、OK をクリックします。
8. この画面は、ハント リストに関連付けられた回線グループを示します。
9. 以下の手順を実行して設定を完了します。注: 手順4 ~ 7は、手動設定ウィザードの両方で次に使用されています。[ステップ 4: メッセージ待機インジケータの電話番号を設定します](#)
[ステップ 5: ボイスメールパイロットの電話番号を設定します](#)
[ステップ 6: 加入者のボイスメールプロフィールを設定します](#)
[ステップ 7: ルートパターンの追加](#)

ボイスメール ポート ウィザードでボイスメール ポートを作成します

ボイスメール ポート ウィザードでボイスメール ポートを作成するには、次の手順を実行します。

ステップ 1: ボイスメール ポート ウィザードを開始します

次の手順を実行します。

1. 機能>ボイスメール> Cisco Voice Mail Port Wizard]を選択します。
2. ユーザがボイスメール ポート用に使用させたい命名規則を入力します (シスコのドキュメントの例はCiscoUM1を使用します)。 [Next] をクリックして次に進みます。
3. のライセンスが付与されているボイスメール ポートの数を選択します (この例では、ポート16で使用されます)。
4. [Next] をクリックします。
5. 次のフィールドに入力してから、[Next] をクリックして続行します。
6. から開始するボイスメール ポートを搭載する開始電話番号を入力します。 終了したら、[Next] をクリックして続行します。注: ボイスメールパイロット番号と最初のボイスメールポートを同じものにしないでください。ボイスメールパイロット番号は、PSTN発信者から到達できる電話番号に設定されます。 次のボイスメール ポート ディレクトリ番号は番号のどの範囲です。 電話番号を隣接する必要はありませんがインストールを容易にするため、継続した順番にすることをお勧めします。

ステップ 2: ボイスメール ポートの設定

この手順は、Cisco CallManagerの以前のバージョンからの重要な変更です。ボイスメールポート設定は、ルートグループの設定と同様に、回線グループによって複数のゲートウェイを関連付ける必要があるときに行います。回線グループは、ボイスメールポートの転送オプションを設定することができます。これはCallForwardBusyとCallForwardNoAnswerパラメータを設定し、コールは次の使用可能なボイスメールポートに常にルーティングします。

1. [Yes, Add directory numbers to a new Line Group] を選択して、[Next] をクリックします。
2. 回線グループの名前を次のように入力して、Nextをクリックします。
3. ボイスメールポートが設定された表示になりうる方法について、説明。 [Finish] をクリックします。 Progressメッセージがポップアップ表示されます。

ステップ 3： ルート/ハント リストとルート パターン/ハント パイロットDNを追加します

ボイスメールポートが回線グループに追加されたルート/ハント リストとルート パターン/ハントパイロットDNを追加するように求められます。 次の手順を実行します。

1. [Route/Hunt List] をクリックします。
2. 新しいルート/ハント リストを追加します。
3. ルート/ハント リストの名前を入力し、[Insert] をクリックします。
4. ルーティング/回線グループを追加するように求められたら、[OK]をクリックします。
5. Add Line Group をクリックします。
6. 上で作成した回線グループを選択します。
7. [Insert] をクリックして、回線グループをハント リストに追加します。 その後、ハント リストをリセットするよう求められます。 [OK] をクリックして、次に進みます。
8. [Reset] ボタンをクリックすると、ハント リストがリセットされます。

ステップ 4： メッセージ待機インジケータの電話番号を設定します

メッセージ受信の電話番号 (MWIオン/オフ) を設定するには、次の手順を実行します。 これらの電話番号がオン/オフIP Phoneのメッセージ ランプを変換するために使用されます。

1. Cisco CallManager Administrationページから、機能>ボイスメール> Message Waiting] **を選択します。**
2. [Add a New Message Waiting Number] をクリックします。
3. メッセージ ランプをオンにして、[挿入のMWI電話番号を追加するために使用するMWI電話番号を入力します。注: この例では、電話番号 8999 を使用しています。
4. メッセージ ランプ、[挿入 (消去できます。電話番号をMWIオフを追加するために使用するMWI電話番号を入力します。この例では、電話番号 8998 を使用しています。
5. 次のような表示を表示するには、**検索/リストMessage Waiting Numbersに戻る)]** をクリックします。

ステップ 5： ボイスメール パイロットの電話番号を設定します

Voice Mail Pilot Directory Number (、ボイスメールボックスにアクセスするためにユーザがダイヤルする電話番号) を実行して設定するには、次の手順に従います。

1. Cisco CallManager Administrationページから、機能>Voiceのメール>**ボイスメール パイロットを選択します。**

2. ボイスメール パイロット番号を追加し、Insertをクリックします。

ステップ 6： 加入者のボイスメール プロファイルを設定します

ボイスメール プロファイルは、これには、ネットワークの複数のボイスメール サーバとして使用され、ユーザは異なるサーバに焦点を合わせたできます。

1. Cisco CallManager Administrationページから[機能>ボイスメール>ボイスメール プロファイル]。
2. プロファイルの名前を入力し、上で作成したプロファイルを選択し、追加するInsertをクリックしてボイスメール パイロット番号を。この時点でCisco CallManagerに正常にボイスメール ポート設定を追加しました。設定を完了するには、[ボイスメール パイロット番号](#)に対するルート パターンを追加します。

ステップ 7： ルート パターンの追加

注: CallManager 4.1を使用すると、このステップを省略して、次のセクションに進みます。

この新しいルート パターンで作成されたハント リストを関連付けます。

注: このドキュメントで作成されたハント リストは、回線グループに追加されたすべてのボイスメール ポートに関連付けられます。これはCisco CallManagerが次の使用可能なボイスメール ポートにコールをルーティングします。

1. Cisco CallManager Administrationページの[Route Plan >から>ルート パターンとハント パイロットください。
2. [新規Pattern/Hunt Pilotを追加します。
3. ボイスメール パイロット番号を入力し、ゲートウェイまたはルート/ハント リスト用に作成したハント リストを選択します。
4. 提供する外部ダイヤルトーンをオフにしてください。
5. 新しいルート パターン/ハント パイロット番号を追加し、Insertをクリックします。Unity TSPを設定したら、ハント パイロット番号をダイヤルおよびボイスメールにルーティングする必要があります。

Cisco CallManager 4.1： ハントパイロット設定

Cisco CallManagerハント グループの人がコールに応答しないと4.1がこのハント パイロットを設定する必要があります (手順7) の代わりにハント グループ コールの音声メールボックスに送信します。

1. Cisco CallManager Administrationページから、ルート プラン>ルート/ハント>ハント パイロットを選択します。
2. [Add a New Hunt Pilot] をクリックします。
3. ボイスメール パイロット番号を入力し、ゲートウェイまたはルート/ハント リスト用に作成したハント リストを選択します。
4. 提供する外部ダイヤルトーンをオフにしてください。
5. Forward Huntに答えは、**応答がなければ**音声メールボックスに転送されるこのハント グループにコールを送信するために使用する個人設定のチェックボックスをオンにします。このハント パイロットにコールを転送した最初の着番号のコール転送を有効にするうえで自身

でカバレッジ (Useの設定確認しないでください。CFNCの設定では、電話番号設定ウィンドウで実施するコール転送理由を指定します。コールは最初に電話番号へのコールがカバレッジに転送するときに転送されている電話番号の範囲および宛先フィールドの値によって異なります。カバレッジが使い切られるかタイムアウトしたら、カバレッジの関連付けられているハントパイロットによりその最終転送に対して [Use Personal Preferences] が指定されます。注: このボックスをオンにすると、Cisco Unified Communications Manager は [Destination] ボックスと [Calling Search Space] の設定を無視します。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイドコミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)